

(2)熱寄与損失

熱寄与損失について、外部から熱を購入した場合と、事業所内で熱を生成した場合で最終エネルギー消費量とCO₂排出量の算定する範囲が異なることを計算の流れでフロー図として説明します。

- ・外部からの購入分について、発熱による最終エネルギー消費量/CO₂排出を、熱を利用した各事業者の最終エネルギー消費量/CO₂排出量として配分する。
自家発熱の場合は、投入した燃料による最終エネルギー消費量/CO₂排出量の合計を最終エネルギー消費量/CO₂排出量とする。
- ・最終エネルギー消費量については、各事業者が利用した外部熱のエネルギーを800に計上し、外部熱供給事業者が発熱した際に損失したエネルギーを950に配分している。
800と950を足すと、外部熱を利用したことによる最終エネルギー消費量となります。
- ・CO₂排出量については、熱を利用することによる排出量は0のため800はすべて0となる。外部熱供給事業者が発熱した際に、燃料の燃焼に伴うCO₂の排出量を950に計上している。
950が外部熱を利用したことによるCO₂排出量となります。

